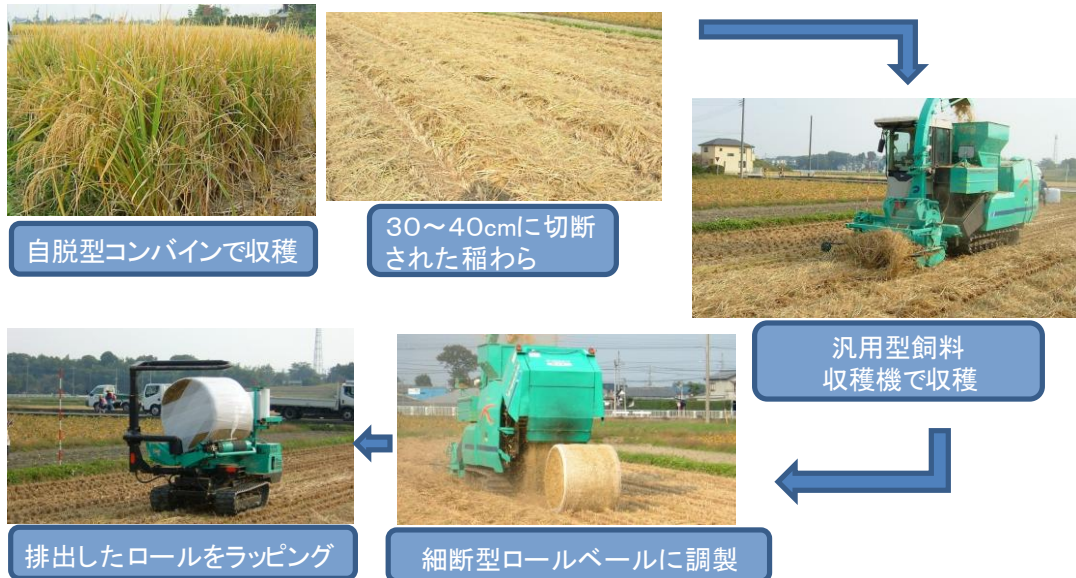


稲わらで高品質なサイレージ作り

米を収穫した後の稲わらは、多くの場合、焼却または水田にすき込み処分されています。未利用の稲わらを飼料資源として有効活用し、国産飼料の自給率を高めるため、汎用型飼料収穫機を使用して高品質な稲わらサイレージに調整する技術を開発しました。

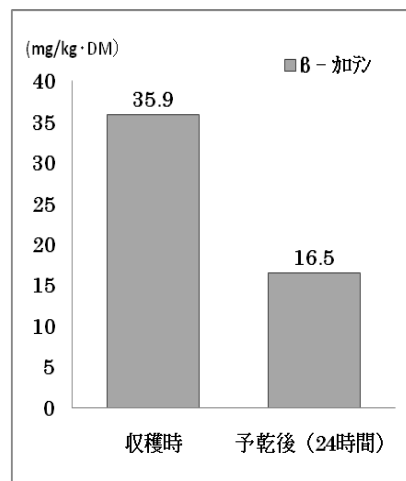
汎用型飼料収穫機で調整した稲わらサイレージは良好な発酵状態が持続し、栄養成分は乾燥わらよりも優れていました。また、予乾した稲わらサイレージはβ-カロテンの含有量が減るので、ビタミンA抑制型肥育を行っている肉用牛向けの粗飼料としても利用できます。

稲わらサイレージの収穫作業体系



稲わらサイレージの栄養成分				
区分	収穫時期	乾物率(%)	粗蛋白(%)	TDN(%)
稲わらサイレージ	結実期 (子実収穫直後)	46.3	8.03	55.80
稲わらサイレージ	予乾 (24時間)	53.6	7.80	48.98
乾草わら	収穫後 (約1ヶ月)	90.1	4.20	37.66
稲WCS	黄熟期	37.3	10.05	59.76
稲WCS	結実期	33.4	8.32	57.48

注) 成分量は乾物中



稲わら中のβ-カロテン含有